

## (12) 非常勤講師等

## 非常勤講師

## ア 大学院学校教育研究科

授 業 科 目 名	時間数
学習臨床学特論	15
学習と相互行為特論	15
学習と表現特論	15
地域教育特論	15
カリキュラム構成特論	30
学校教育相談演習	30
地域教育経営特論 (地域教育計画特論)	30
現代社会と子ども	30
精神医学特論	30
心身医学特論	30
臨床薬理学特論	30
学校実験計画法	30
学校多変量解析法	30
障害児病理学論 C	30
視覚障害児指導法	30
特別支援教育論	6
数学教育学特論 B	30
理科野外観察指導実習 I	15
化学特論	15
「生命・地球」特論 A	15
指揮法研究	30
日本音楽研究	30
音楽学特論	15
造形心理学特論	30
東洋美術史特論	15
スポーツ学特論 A	30
理科野外観察指導実習 H	15
現代教育方法学特論	30

## イ 学校教育学部

授 業 科 目 名	時間数
文化体験演習	15
学校教育相談基礎演習	30
漢文学講読	30
哲学概説	30
合奏 C	15
独唱	30
音楽劇創作	15
情報基礎(実習を含む)	30
栽培学概論	15
住居学(製図を含む)	30
家庭電気・機械・情報	20
社会教育計画 A	30
社会教育計画 B	30
社会教育演習	30
社会教育演習	30
情報メディアの活用	30
心理統計解析	30
学校教育相談	30
乳幼児の健康	30
家庭看護学	15
金属加工法	30
金属加工学	30
木材手工具加工法	10
木材機械加工法	30
教育方法学	30
体操・器械運動	30
スポーツ実践	18

## 教員養成実地指導講師

### ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
人間教育学セミナー	教育実践の視点からの教職の意義	4
人間教育学セミナー	学校における教職の意義を学ぶ機会を用意しながら、教師の役割そして教職の職務内容等についての実際的な理解を図る。	2
人間教育学セミナー	教員採用試験にストレートで合格し、現在教員として活躍中の本学卒業生と懇談的に話し合うことで、教職に対する心構えを養成する	4
生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	24
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	8
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	6
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	4
中等英語科指導法（授業論）	中学校の英語科授業における授業計画の立て方および実践について学ぶ	6
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際	4
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	6
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
数学学習過程論	数学の内容を理解していく子どもの学習過程について考察するとともに、その考察をいかにしながら授業の構成を考える	8
理科指導法演習	理科指導法の理論を学習した後、主に小学校理科の実地指導を行う。	2
理科指導法演習	理科指導法の理論を学習した後、主に中学校の理科の実地指導と、小中学校理科の連続性について指導する。	2
実践セミナー（美術）	小学校教員養成（図画工作）	4
図画工作科指導法	小学校教員養成（図画工作）	8
中等美術科指導法（課程論）	中学校教員養成（美術）	6
中等美術科指導法（教材論）	中学校教員養成（美術）	6
家庭	初等教育の家庭科における衣・食・住・生活環境などについて講述する。	2
初等家庭科指導法	小学校現場における「いのち教育」の実践について講義する。	4
初等家庭科指導法	医療現場にいる者の視点からいのちの大切さ、生と死について講義する。	4
初等家庭科指導法	初等家庭科における適切な教材観を養い、授業設計ができるようにする。	4
中等家庭科指導法（教材）	中学校教育現場における、家庭科教材の具体的指導事例について講義。	4
中等家庭科指導法（教材）	家庭科における情報教育のあり方とPCを利用した教材作成方法について指導する。	6
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に技術とものづくり）	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）	2
中等技術科指導法（基礎論）	技術科教材研究の実践に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に技術とものづくり）に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）に関する基礎論	2
初等音楽科指導法	初等音楽科の授業に関する内容（目的、教材、指導法、評価）	32

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
中等音楽科指導法 教育課程論	中学校音楽科の教育課程に焦点をあてた講義	8
中等音楽科指導法 本質論	中学校音楽科の目的、理念の内容を中心とする。	8
総合演習 (学校と食の教育)	人間と食との関係を総合的に理解すると共に、自らに適した食の選択能力を育成するため、食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。具体的には教員養成実地指導講師を招き、学校が一体となって行う食の教育とその現状を体系的に理解するための授業や給食における食教育の実践例を紹介し、併せて食教育の実践場面を参観すること等を通じて食の理解をより深める。	10
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
保育・造形表現の指導法	幼児の造形行為とその意味の理解を深め、これを支援する専門的知識や技能に関する演習を行う。	2
教育工学	本講義を「教育の方法及び技術」に関する科目として位置付け、時代の趨勢を考慮し、教師に求められる実践的力の形成を主眼として、人間の感性を取り込んだ、New Information Technology Based Teaching-Learning Systemを目指すものとして設定した。本講義を通して、教育の目的に応じた学習を成立させるためのコミュニケーションを支援する環境や方略、メディア等の理論と実践に関わる教師としての基礎的力の育成を図る。具体的には、授業の設計・実施・評価に関する力量、具体的な教材やメディアを選択・構成・活用するためのメディアの選択と活用に関する力量、問題解決に必要な情報活用に関する力量を育成する。	10
障害児教育概論 (介護等体験事前・事後指導含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験実施学校・施設の現状について理解を深める。	14

## イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	8
総合学習と生活科	小学校における生活科と総合的な学習の具体的な展開を講ずる。	10
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述する。	10

## ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
中等音楽科指導法実践応用論	中学校の教育実習(音楽)の事前事後指導	8
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、教育実習全体の心構えや学習指導案の作成指導等	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、音楽の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、体育の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、図工の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、国語の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、社会科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、算数の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、理科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、道徳の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を10グループに分けてグループ単位で実践的に修得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。	10
教育実地研究 (授業基礎研究)	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を11グループに分けてグループ単位で実践的に修得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。	10
保育実習	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る	2
保育実習	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る	2
保育実習	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る	2

## ティーチング・アシスタント

### 修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
体験学習A	濁川・木村・阿部	前期	集中	30 時間
体験学習C	西山・室谷・定本	通年	不定期	30 時間
体験学習E	高石	通年	不定期	30 時間
体験学習F	立屋敷・佐藤・光永・藤木	通年	不定期	30 時間
体験学習G	天野・大場	通年	不定期	30 時間
体験学習H	後藤 他	通年	不定期	17 時間
スポーツ実践 A	土田	前	水 2	30 時間
スポーツ実践 B	土田	前	金 2	30 時間
スポーツ実践 C	土田	前	火 2	30 時間
スポーツ実践 D	土田	前	木 2	30 時間
表現・相互行為教育演習	加藤(泰)・松本(健)・阿部(亮)	前	火 1	15 時間
教育情報基礎演習	井上	通年	木 1	60 時間
教育情報基礎演習	大森	通年	木 4・5	60 時間
教育情報基礎演習	中野	通年	月 4	60 時間
教育情報基礎演習	石川	通年	月 2・木 2	60 時間
教育情報基礎演習	高野	通年	金 3	60 時間
音楽	山本(茂)	通年	木 3	30 時間
音楽(免許プログラム対応)	山本(茂)	通年	月 6	30 時間
図画工作 A	洞谷 他	前	金 3	30 時間
図画工作 B	洞谷 他	前	木 1	30 時間
図画工作 C	洞谷 他	前	火 3	30 時間
図画工作 D	洞谷 他	前	木 4	30 時間
中国語・中国事情	黎	前	月 1	30 時間
ロシア語コミュニケーション	下里	前	木 2	26 時間
表現・子ども の活動 A B	酒井・西村・洞谷・大橋・阿部・松尾	前	金 1・2	30 時間
表現・子ども の活動 C D	酒井・西村・洞谷・大橋・阿部・松尾	前	金 1・2	30 時間
算数科指導法	岩崎・中村(光)	前	木 2	15 時間
算数科指導法	岩崎・中村(光)	前	火 2	15 時間
初等家庭科指導法 A B	滝山・得丸	前	火 2	15 時間
初等家庭科指導法 C D	滝山・得丸	前	火 1	15 時間
心理学実験	中山(内藤越)	前	木 3・4	30 時間

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
地理学野外実験	赤羽・佐藤	前	集中	30 時間
造形基礎 B D	西村 他	前	月 4	30 時間
書写書道	押木	前	月 3	24 時間
地域調査法 B	赤羽・佐藤	前	集中	30 時間
指揮法	後藤	前	木 5	26 時間
数学基礎演習	黒木	前	火 4	30 時間
デザインワーク	山ノ下	前	月 4・5	30 時間
地学実験	天野	前	月 4・5	30 時間
絵画表現	増谷 他	通年	火 4	30 時間
野外運動 B(マリン)	清水	前	集中	30 時間
工芸表現 B	高石	前	木 5	30 時間
地圏環境進化学実験	天野	前	木 4・5	25 時間
スノースポーツ	市川	後	集中	30 時間
表現・状況的教育方法演習	高石・小川昌大場孝	後	水 1	30 時間
保育・音楽表現の指導法	大山	後	火 3	30 時間
総合演習(学校と食の教育)	立屋敷	後	月 5	30 時間
計算機数学演習	中川仁	後	木 4	30 時間
生物学実験	小川茂	後	木 4・5	30 時間
カウンセリング基礎演習	宮下(五十嵐・米山)	後	水 1	30 時間
野外運動 A(スキー)	市川	後	集中	30 時間
デザインワーク	山ノ下	後	木 3	30 時間
機械工学実習	黎	後	木 4	30 時間
書写書道	押木	後	月 2	24 時間
調理の理論と実習	立屋敷	後	火 3~5	30 時間
伝統的絵画表現と鑑賞	増谷・福岡・洞谷	後	火 5	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤(悦)	後	火 3~5	30 時間
数学基礎演習	溝上	後	火 4	30 時間
物理学実験	西山	後	月 3・4	30 時間
保育・造形表現の指導法	松本	後	火 2	30 時間

博士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
障害児心理・生理検査法 B	星名	前期	金3・4	28	時間
障害児研究法演習	星名	後期	金3・4	28	時間
障害児研究法演習 C	藤原,他 4 人	通年	月 4	43	時間
地域研究実験	佐藤,大嶽	前期	集中	28	時間
数学基礎演習	黒木	前期	火 4	28	時間
代数学演習	黒木	後期	水 1	25	時間
メディアデザイン研究	西村	後期	月1・2	60	時間
木工芸研究	西村	前期	木1・2	47	時間
総合造形表現	西村	後期	月 4	28	時間

## ティーチング・サポーター

### 修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
算数	黒木	前期	火3・木1	22	時間
理科	小林(辰)	後期	月2・火1	20	時間
図画工作	洞谷	前期	木6	30	時間
家庭	滝山	前期	月2	30	時間
算数科指導法	岩崎	通年	火2・木2	30	時間
初等音楽科指導法	小川	前期	月2・木2	30	時間
図画工作科指導法	太田	前期 後期	火3・木1 木6	30	時間
初等家庭科指導法	滝山・得丸	前期	火1・火2	30	時間

## リサーチ・アシスタント

(上越教育大学大学院学校教育研究科分)

任用期間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
6月 1日～3月31日	400時間	発達障害児を有する家族のQOL向上を目的とする積極的行動支援に関する研究	学校教育研究科	藤原 義博 教授

(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科分)

任用期間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心組織名	研究プロジェクト代表者
6月 1日～3月31日	400時間	数学的性質の関連付けに関する研究	連合学校教育学研究科	黒木 伸明 教授